働き方が変わる。

スキルをつけた、その先へ。
動画編集者のためのトータルサポート

FDCとは

こんな悩み、ありませんか？

- ✓ 低単価の単品案件ばかりで**月10万円を抜け出せない**…
- ✓ 継続して案件が取れるか**不安**…
- ✓ お客様とのやりとりで、**何でも相談できる人**が欲しい…
- ✓ スキルを学んだけど、**次にどう進めばいいか**わからない…

その悩み、FDCがすべて解決します。

必要なものは、
これひとつ。

動画編集で稼ぎたい人の、
働き方が変わります。

FDC

指導を受けた方の声

動画編集に関わるすべての工程ができるようになり、取り組める案件の幅が広まりました。

Sさん　30代 女性
動画編集者

動画編集に関する案件を完遂できるという安心感をもって取り組めるようになりました。

20代後半 男性 元エンジニア

ご相談は無料です。
お気軽にご利用ください。

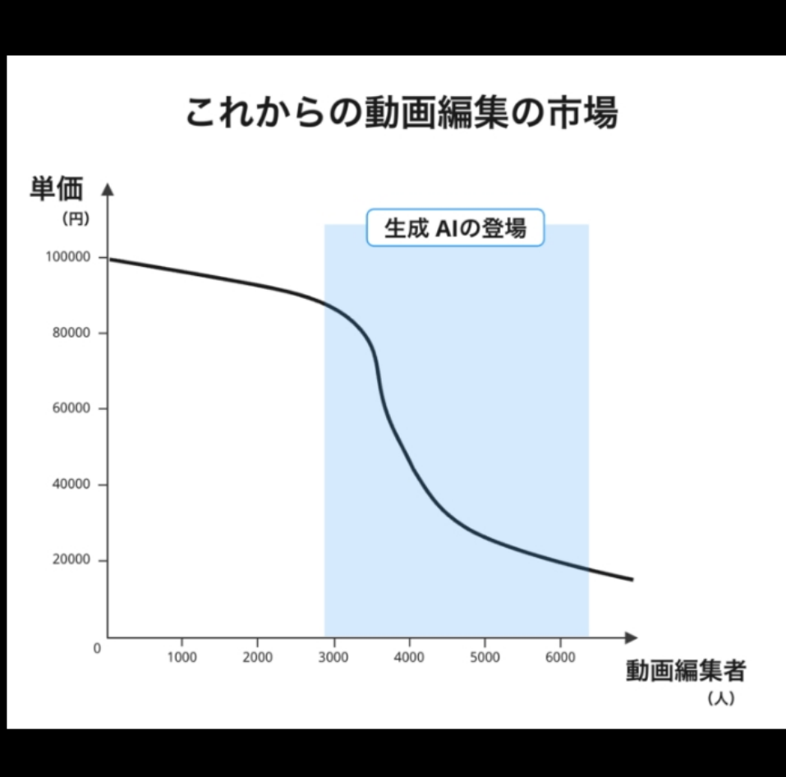
無料で相談する

この先、動画編集はどうなるのか

「動画を作成してほしい」
という需要は多く、
案件も増え続けています。

一方、ここ数年で動画編集者の数も急激に増えたため、
案件一件あたりの単価が下がり続けているのが現状です。

さらにはAIで動画を作成することもでき、
“簡単な動画は自分で作れる”時代にもなりました。



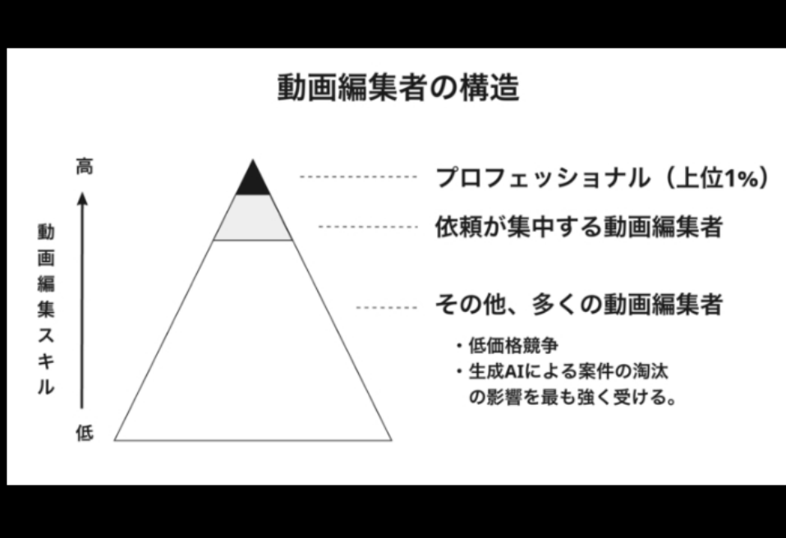
案件数と同時に動画編集者の数も増え、
「変わり」がいるため単価が下がる ※FDC予想

進む二極化

その結果、
スキルの高い編集者に依頼が集中し、
大多数の編集者の競争は激化しています。

この二極化の流れは、
今後も加速していくと考えられます。

・もっと上手く
・もっと安く
この「スキルの習得」「低価格競争」の戦い方では
長く稼ぎ続けることはできません。


動画編集者の構造
高
動画編集スキル
低
プロフェッショナル（上位1%）
依頼が集中する動画編集者
その他、多くの動画編集者
・低価格競争
・生成AIによる案件の淘汰
の影響を最も強く受ける。

編集スキルを高める戦い方は、
既存の編集者とAIの登場により苦戦を強いられる。

では、どのようにして生き残るのか？

この先も「選ばれる動画編集者」になるために
取れる戦略は 3つ あります。

01

映像制作の
プロフェッショナルになる

編集スキルの専門性を高め、
ハイクオリティな作品を作る"製作者"になることです。
他にはできない動画（作品）を作るスキルが求められます。

02

企画立案をする
プロデューサーになる

マーケティング目線を身につけ、
「どうすれば見られるのか」という企画力と、
その先着が実行できるセンスが求められます。

03

チーム運営をする
ディレクターになる

動画編集についての幅広い知識から、
顧客を課題解決への導ける提案力が必要です。
また実際に実行へと落とし込み、
制作チームをマネジメントするスキルが求められます。

“何を目指すか”で、

働き方が決まります。

自分に何が向いているのかは、

実際にやってみるまでは、分かりません。

FDCで学べること

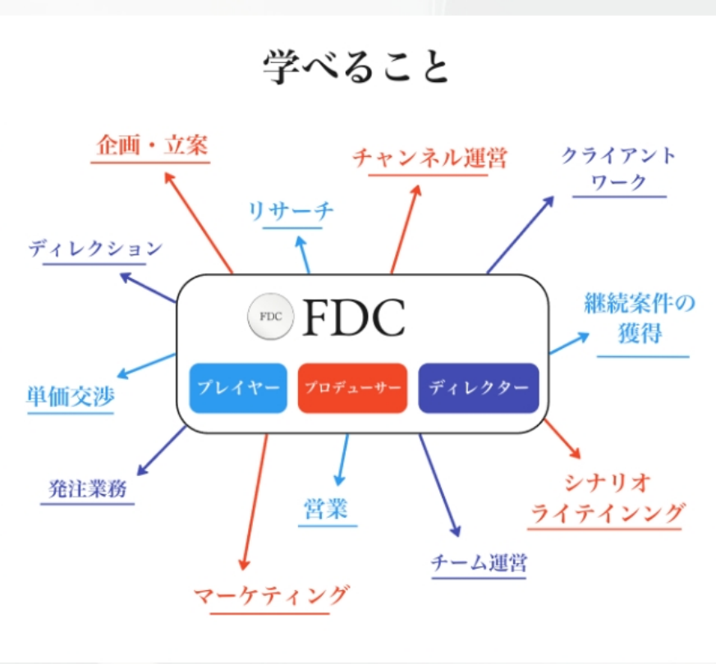
FDCでは、
動画編集で自ら稼ぐための、

・企画を行うプロデューサー
・チームを運営するディレクター
に必要なスキルを

チャンネル運営やディレクションを通して学び、
”仕事を作るための力”を
身につけます。

それはこの先の、
時代に左右されない「稼ぎ続ける力」となります。

”働き方が変わるまで”
サポートします。


学べること
企画・立案
チャンネル運営
クライアントワーク
リサーチ
ディレクション
継続案件の獲得
FDC
プレイヤー
プロデューサー
ディレクター
単価交渉
発注業務
営業
シナリオライティング
チーム運営
マーケティング

受講内容

初回ヒアリング

打ち合わせをし、
今後の学習の方向性を
決めていきます。

↓

個別コンサルティング

実践した内容から
月５回、フィードバックを行い
スキルを高めていきます。

決められたカリキュラムはありません。

実践を通しての学習と、

個別コンサルティングから学んでいきます。

料金

29,8万円 ／ 6ヶ月

6ヶ月間で商流を上げます。

Profile

藤原 敏行

Fujiwara Toshiyuki

大手リース会社の勤務中に
動画編集を独学で学び独立。

ディレクター業務、チャンネル企画運営など
動画編集にまつわる様々な活動を経て、
講師業にも従事。
これまでに60名以上を指導し、
動画制作会社を設立した編集者も輩出。

YouTube動画制作数　2000本以上
月収70万円を記録するチャンネルなど、
10チャンネル以上を運営

奈良県在住。一児の父。

ご相談は無料です。
お気軽にご利用ください。

無料で相談する

© 2024 FDC